

日本共産党・志位委員長が表明

民意切り捨てる定数削減は許されない

日本共産党の志位和夫委員長は14日、国会内で記者会見し、野田佳彦首相が党首討論で衆院解散に言及したことについて問われ、次のように述べました。

一、首相は解散の条件に比例

定数削減をあげているが、今の

選挙制度で比例は多様な民意を

反映する唯一の部分で、この削

減を解散の条件とするのは全く

筋違いのやり方だ。消費税増税

という国民に対する公約違反を

やっておいて、もう一方で国民

の民意を切り捨てる比例定数削

減をやることは二重の意味で許

されない。

一、大きな流れとしては、国

民のたたかい、怒りの声に追い

詰められての解散だ。野田内閣

は国民への公約を裏切って消費

税増税を強行し、日本農業を破

壊するTPP（環太平洋連携協

定）参加を突如持ち出し、オス

プレイの配備や米軍の新基地建

設、原発の再稼働など、さまざま

まな国民の利益に反する政治の

暴走を続けてきた。それへの国

民の怒りに追い詰められての解

散だ。

一、民自公3党の増税談合の

中での「近いうちの解散」とい

う約束も、それが守られないこ

とが問題になるのは、消費税増

だ。

一、わが党は、あらゆる面で

国民のたたかいの先頭になつて

きた。間違った政治への批判だ

けでなく、打開の展望も経済、

外交、原発、領土の問題など、

あらゆる問題で提案してきた。

国民の公約を破って消費税増税

をやったこと、原発の問題、米

軍基地問題など、国政の基本問

題を堂々と議論して、審判をあ

おぐたたかいをやり、躍進を目

指して意気高くがんばりたい。

総選挙

躍進めざして 意気高くがんばる